

映像メディアの作り方

第29回 教材作成に役立つ!? 撮影ノウハウ

【準備編】

- ・まずは撮影の準備。カメラ、三脚の機材、撮影の目的、撮影場所の確認。
- ・安定した映像を得るために三脚を使おう。
- ・色と明るさを調整して、人間の目に近い映像を撮ろう。

【撮影テクニック編】

- ・カメラポジション（カメラの構え方）、フレームサイズ（映像の枠 被写体をフレーム内に収める）、カメラワーク（カメラを動かす、ズーム・パンなど）、カメラアングル（カメラを構える角度）、構図（フレーム内での配置）。
- これらを駆使して生きた映像、メッセージ性のある映像を撮ろう。

【実践編】

- ・実習に代えて 実際に撮影して、撮影テクニックを試したり、自分や他人が撮った作品を鑑賞・批評して、技術を高めよう。

撮影の準備

- 撮影前には準備リスト、必要に応じて撮影企画書を作ろう
 - カメラ・三脚は事前に必ず動作確認をする
 - バッテリー・録音機器は意外と忘れがち(スタジオ慣れ)
バッテリーは撮影時間の倍くらい、補助用の録音機器(テープ・MD・ICなど)の準備。
 - 撮影の段取り、ロケハンメモ、インタビュー事項
 - どのように撮るのか(教材用? 授業? 講演?)、主役は誰か?
撮影の目的を明確しておく。



三脚を使ってみよう

- 三脚を使うことで、手振れを防ぎ、安定した映像が得られる。
- 動的な映像・躍動感を出したいときは三脚を使わない。
- 三脚の設置が困難な場合は一脚を使って安定させる。



色・明るさに気をつけよう

●ホワイトバランス

様々な色温度の光源のもとで、
白色を正確に白く映し出すように補正する機能

●明るさ

ゲイン(感度)やアイリス(絞り)で調整
照明やレフ板で、光の量を増やす

※オートを過信しないこと！



カメラポジション

[1] ハイポジション

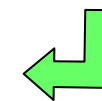
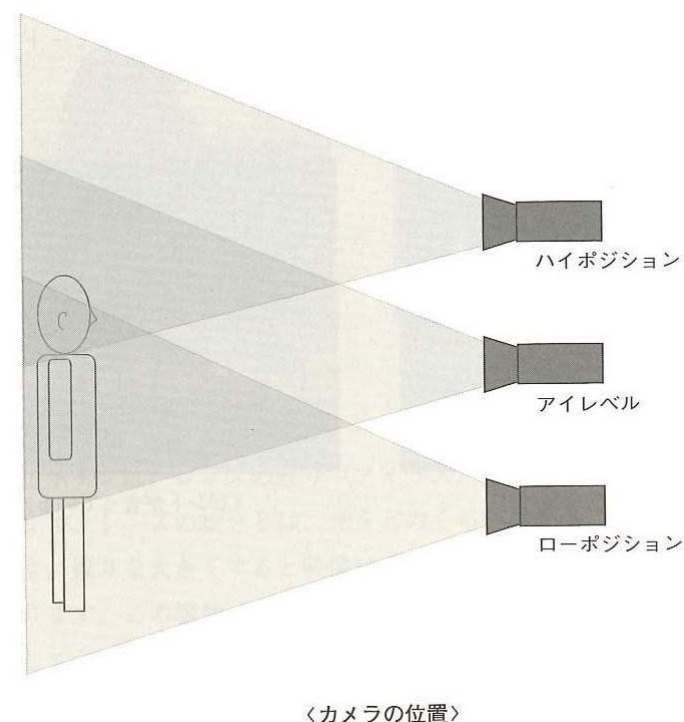
- 被写体の位置関係や周囲の状況を説明するときに使う

[2] アイレベル

- 人の目の高さで撮影
- 普段見慣れた高さなので、見ていて安心感がある

[3] ローポジション

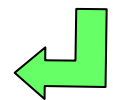
- 普段の目線の高さでは見られない視点
- インパクトはあるが周囲の状況は掴みにくなる



ハイポジションの例



アイレベルの例



ローポジションの例



フレームサイズ

[1]フルショット

- 人物と周囲の状況が分かる画像サイズ

[2]ウエストショット

- 人物の表情と動作がわかるよう、腰から上を取るサイズ

[3]バストショット

- 人物の表情がわかるように人物の胸から上を撮る

[4]クローズアップ

- 被写体の一部分を大きく撮影するサイズ



フルショットの例



ウエストショットの例



バストショットの例



クローズアップの例



カメラワーク

[1]ズーム

被写体を徐々に拡大する事を「ズームイン」(T:Tale:望遠)

被写体を徐々に小さくする事を「ズームアウト」(W:Wide:広角)

[2]パン

被写体にそってカメラを水平(左右)方向に角度を変えて撮影すること。

動きを追うときや背景を撮影するとき使用する。

[3]チルト

被写体にそってカメラを上下方向に角度を変えて撮影すること。

[4]ドリー

移動する撮影台の事で、台にカメラを設置して、被写体に徐々に近づいたり遠ざかったりする。

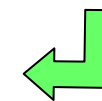
[5]トラック

移動する被写体を撮影するとき、距離を保ちながら水平方向にカメラを移動させて撮る。被写体が横に動く様子を撮影するとき使う。



カメラワークの注意点

- フォーカス（ピント）がズレないようにする。
- ゆっくりと一定の速さで行う。
- 多用しすぎないようにする。



カメラアングル

[1] ハイアングル

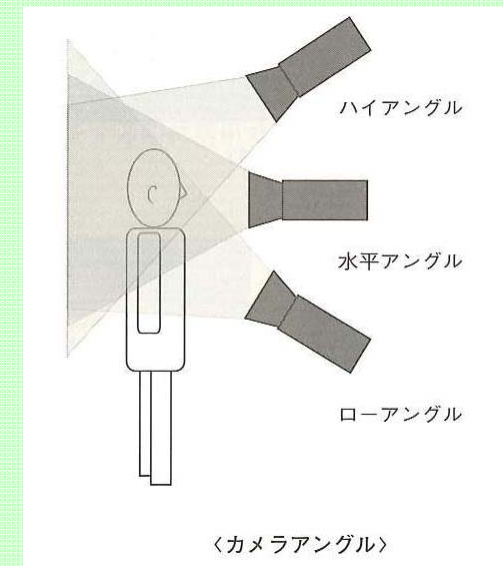
- 被写体より高いところから撮影
- 「かわいらしい」「か弱い」「おどおどした」印象

[2] 水平アングル

- 被写体の目の高さで撮影
- 「同等な」「イキイキとした」「安定した」印象

[3] ローアングル

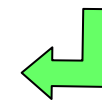
- 被写体の目の位置より低いところから撮影
- 「強い」「堂々とした」「威厳のある」印象



ハイアングルの例



水平アングルの例

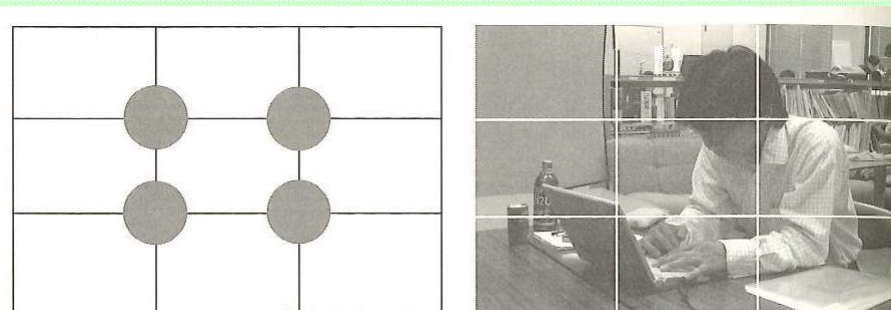


ローアングルの例

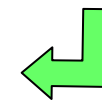


構図

- 黄金分割
 - 約1:1.618で画面を分割する構図。黄金分割を念頭に構図を決める。
 - およそ画面を左右に3等分、上下に3等分した線を描き、その線が交わっている4箇所のうち、いずれかに被写体を合わせるように撮影する。



〈黄金分割〉



構図の例(1)

・下の写真を見てどう思いますか？

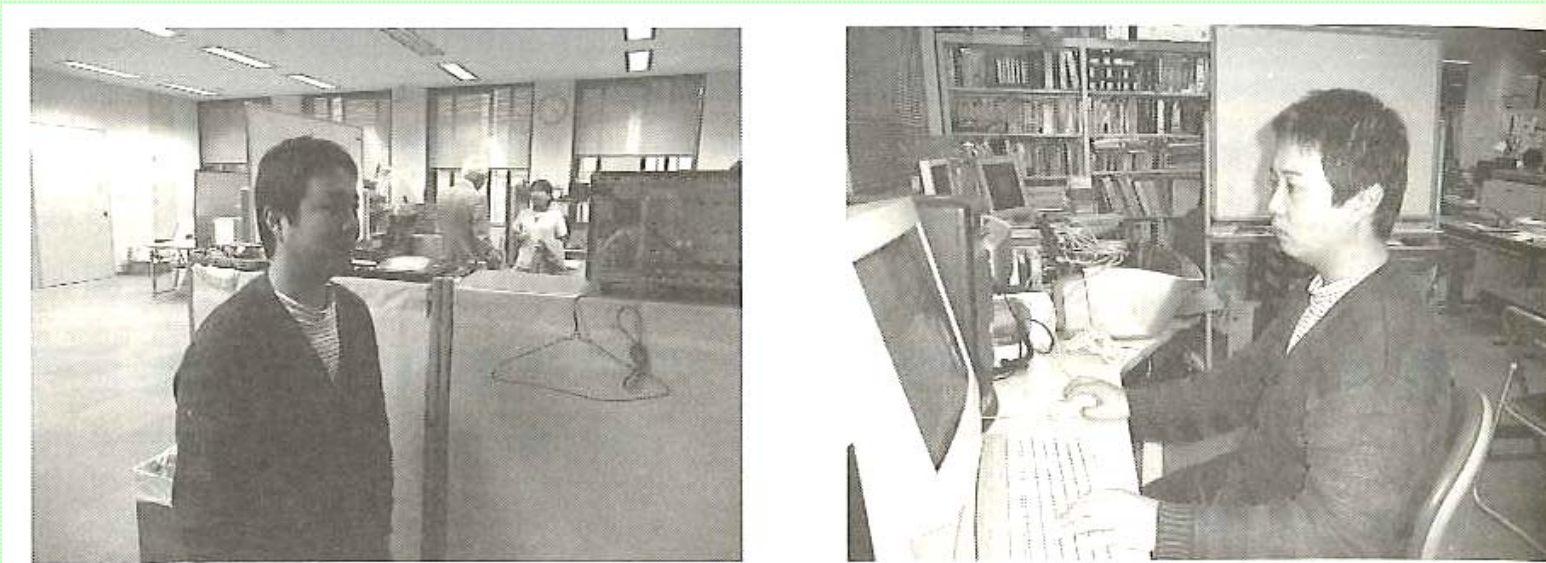


- 左の写真は動きを示すため左側に空間
- 右の写真では安静を示すため中央に配置

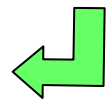


構図の例(2)

- 下の写真を見てどう思いますか？



- これらの写真では、棚やホワイトボードが首を切断してるように見えてしまう。また背景があまりにもごちゃごちゃしている。



実習に代えて

- 実際に撮影してみましょう。
- カメラポジション・フレームサイズ・カメラワーク・カメラアングル・構図などを状況に応じて使い分け、あるいは組み合わせて撮影テクニックを磨きましょう。
- 練習したり、他の人の撮影する様子を観察したり、既に撮られた作品を鑑賞して勉強をしましょう。



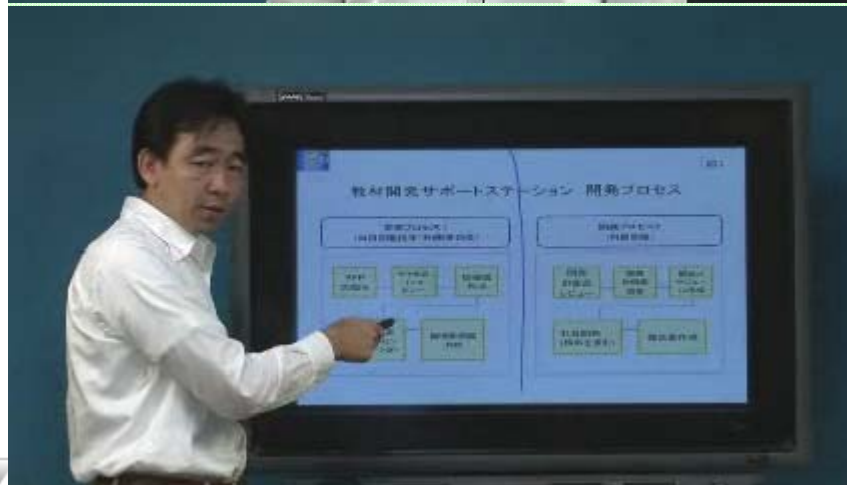
下の写真を見てどう思いますか？

- カメラポジション・フレームサイズ・カメラワーク・カメラアングル・構図など
これまで出てきた項目を踏まえて考えてください。



下の写真を見てどう思いますか？

- カメラポジション・フレームサイズ・カメラワーク・カメラアングル・構図などこれまで出てきた項目を踏まえて考えてください。



参考文献

- 久保田賢一（編） 中橋雄・岩崎千晶（著）
2008年 『映像メディアのつくり方 情報発信者のための制作ワークブック』 北大路出版

